

## 目標達成計画

作成日: 令和 4 年 4 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4(3)	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>2ヶ月に1回開催される運営推進会議の参加者人数が少ない。コロナ禍で書面での実施が多かったが、もっと地域の方々と交流を深め、より良い提案(議論)をしていかなければならない。書面会議でも意見等の収集が不十分であることから、もっと意見がいただけるよう工夫する必要がある。</p>	<p>本年も引き続き会議参加人数は、最低でも4人以上を目標に掲げる。書面会議の場合でも意見等をもっといただけるようにする。</p>	<p>自治会長と相談し回覧板を利用したお知らせ文書を付けて、会議参加者を呼びかけグループホーム施設見学もかねて本年も粘りずよく継続していきます。地域の方にもっと参加していただけるよう、運営推進会議のビラを配ったり、地域の行事に積極的に参加し、そこでお声掛けを行い参加を呼びかけたい。本年も粘りずよく呼びかけて参加してもらえるように努力していきたい。</p>	6ヶ月
2	6(5)	<p>災害対策について</p> <p>昼や夜も問わず全職員が災害時には、敏速に安全に利用者様を避難誘導しなければならないが2、3階の重度化の利用者が多い現状における避難誘導の方法や備蓄品の種類などを考える必要がある。</p>	<p>防火・防災時に災害時マニュアルに沿って訓練を実施する。停電時の対策や利用者一人一人の状態に合わせた対策を考える。</p>	<p>備蓄品の見直しや背の高い家具の地震対策の実施を行う。利用者一人一人の状態に合わせた避難誘導の方法を職員全体で話し合い、それに基づいた計画作成を行い、消防訓練に生かせるようにする。また停電時の対応で夜間懐中電灯を使い、暗い状態での対応なども行い、対策を立てていきたい。</p>	10ヶ月
3		以下余白			ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。